

## 私は自分のキャラクター

みなさんは想像上のキャラクターになってみたいと思ったことはありませんか？自分とは違うキャラクターになることで新しい自分の一面を発見することができます。僕が作ったキャラクターはすべて僕の一部です。新しいキャラクターになることで自分自身がもっとわかるようになる気がします。

僕は高校の時、まちの図書館で初めてテーブルトップRPGをやってみました。テーブルトップRPGとは、何人かでキャラクターを作って会話をしながら進めるゲームです。この時は、まだどうしたら面白いキャラクターを作れるのか分かりませんでした。でも、大人になるにつれて、それぞれのキャラに特徴のある声をつけたり、方言を使ったりしてキャラを演じると、どんどん面白いキャラが作れるとわかってきました。

僕の一番好きなキャラクターを紹介します。このキャラはゴッドフリーという名前で、若くて左手が義手になっています。ゴッドフリー本人は人間の肉体よりも金属の方が優れていると信じていて、いつかは体全体を金属の義肢に換えたいと思っています。僕もゴッドフリーと同じことを考えます。自分自身がすきじゃないし、もっといい体が欲しいとよく思います。でも、違うところは僕は自分の体を金属に換えたくないという点です。ゴッドフリーは腕を失って弱くなった自分がきらいですが、自分をもっと受け入れてもいいと思います。

キャラクターを作って演じることは、ちょっと子供っぽいとか、いわゆる中二病みたいとかよく言われます。でも、キャラを演じると自分自身のことがもっとよく分かるようになります。それに、不安な気持ちをなくすのにも役立ってくれます。だからキャラのおかげで今の自分があると感じています。みなさんもキャラ作りをやってみることをおすすめします。最初は恥ずかしいかもしれませんが、自分が作ったキャラから何か意外なことが発見できるかもしれません。